

学習内容報告書

学校名	学校法人三重高等学校 三重中学校
授業者	片岡 洋平

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

巻末ページ 歴史を学んで

1-2. 学年

2年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会

1-4. 単元の概要

歴史の授業の終わりに、公民への導入として取り入れた。今までは、歴史を振り返りながら、概観するだけで最後の授業を行っており、次の学習内容について関心をもち、歴史が未来につながっていくといった意識を芽生えさせるようなことは行っていなかった。そこで、今回自分たちが体験し、感じたことで未来につながるものとして、1年時に行った海の学習の内容を取り入れた。漁協の方の取り組みや松名瀬の現況を思い起こし、海の未来を考えた。体験したことでも、身近な地域のことであり、自分たちの社会のことを考える公民への導入としては、三重中学校ならではのものとなった。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

3年の公民では今の世界のしくみ、これからどうしていくべきか学ぶものである。それをより身近に感じてもらうために、海の学校で実際に体験したことを思い出しながら、自分たちの地域でもそういった視点を持ってもらおうと考えた。1年生で体験し、2年生で海の未来を考えてみることで、現状だけでなく未来にも関心を持ってもらう。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

通史だけでなく、歴史は身近に地域にもあることを再認識する
身近な地域、海にも未来があることを意識できるようになる

1-7. 単元の展開（全1時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・中1で行った海の学校について振り返る ・日本史のように、地域にも歴史があったことに気付かせる。 ・海の未来について、「海と共にどう生きる？」という発問でペアとグループで話し合い、最後にクラスで共有する。 	使用教材 ワークシート、海の学校で使用したプリント 評価 授業内での発言とワークシートで評価する

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海の未来について考えることができる
歴史は学ぶことだけでなく、未来につながりことに気付くことができる
多様な視点、総合的な視点で考えることができる

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>導入</p> <p>歴史を学んできた。私達の地域にも歴史があり、そして未来がある。3年の公民では今の世界のしくみ、これからどうしていくべきか学ぶ。</p> <p>「身近な地域の歴史を考えてみよう」</p> <p>① 問いかけ</p> <p>例えば去年、海の学校で松名瀬海岸に行った。昔は塩田、今は海苔とアサリ。</p> <p>発問「松名瀬のこれからって？」</p> <p>議論を活性化させるための発問</p> <p>「海と私達の関わりって何がある？海と関わりがあるのは？」</p> <p>予想される反応</p> <p>潮干狩り、生活排水、海水浴、海産物など</p> <p>森、陸、海外も、</p> <p>グループで発表させ、板書して共有する</p> <p>予想される反応</p> <p>海洋プラスチックの問題をどうしていくか、栄養のある海にするにはどうするか、海だけでいいのか、私たちが関われることを考えるなど</p>	<p>海の学校で使用したプリント配布し、思い起こさせる。</p> <p>板書</p> <p>「昔」「今」と書き、生徒に聞きながら板書していき、最後に「これから」と板書する。</p> <p>たくさん発想してもらうために、ブレインストーミングでワークシートに各時間とペアワークで話す時間を設ける。</p> <p>「自分たちの視点以外からも考えてみよう。」といかけ、様々な視点を持ってもらうよう促す。</p> <p>抽象的なものに対しては「私たちができることはあるかな？」と問いかける</p>

3. 今回の活動の自己評価

「これから」といった漠然とした問いかけで、様々な意見が出た。

①自然を知る場所にする（エコツーリズム in 松名瀬海岸 生き物と触れ合う）

②海産資源がとれるようにする（栄養のある水を流してもらう）

③今の時代にあった使い方にする。海の景観を利用して雰囲気を楽しむ場とする

チェアリングのスポット、デイキャンプスポットにしてみるなど

生徒たちは、素直に考え多様な視点で考えることができていた。

本時の目標である「海の未来について考えることができる」「歴史は学ぶことだけでなく、未来につながりことに気付くことができる」「多様な視点。総合的な視点で考えることができる」は達成できていた。

4. 今後の課題

「考えることができる」ことは分かったので、あとはそれを深めたり、行動に移したり、ずっと意識してもらっていくためにどういった工夫をしていくか。公民の授業でどのような形で取り入れていくか考えていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

1限で構成されているので、取り入れやすくアレンジしやすい。1日で終わってしまう、その場の体験で終わるのでなく、何気ない日々の授業とつなげることで、生徒の意識の醸成につながるので、身近なものに感じてもらうものとして使っていただけたらと思います。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。